

今年の「恵方」は北北西

節分はその年の恵方に向かって願い事をしながら無言で「恵方巻き」(太巻き寿司)を食べる習慣を最近知ったという方もいらっしゃると思いますが、その起源は江戸の末期から明治の初期にかけて大阪の商人が商売繁盛を祈願したことから始まったと言われています。戦後に廃れたものの1970年代に大阪海苔問屋協同組合の販促活動により復活し、徐々に全国に広まっています。コンビニでの販売により、現在ではその認知度も80%を超えています。

恵方巻きには、おめでたい七福神に因んでかんぴょう・しいたけ・高野豆腐・胡瓜・伊達巻・うなぎ・でんぶ等の七種類の具を巻き、「福を食べる」「福を巻き込む」という意味もあるそうです。

まだまだ節分の行事といえば「豆まき」が一番人気のようですが、今年の幸運を願って恵方巻きを召し上がってみてはいかがでしょうか？

